

低侵襲弁膜症手術における臨床成績に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：(2026年6月24日)～ 2028年3月31日

〔研究課題〕

低侵襲弁膜症手術における臨床成績に関する検討

〔研究目的〕

心臓弁膜症に対して低侵襲手術の有効性及び安全性の評価、さらに今後の課題を得ることです。

〔研究意義〕

低侵襲手術は早期退院や整容性で利点がある一方、ロボット支援の有効性及び安全な適応基準は未解明である。本研究は従来法との比較やロボット支援の影響を検討し、適切な術式選択を行うために研究を行います。

〔対象・研究方法〕

本研究は、後ろ向き観察研究として、実臨床における治療成績を探索的に検討するものであり、目標とする症例数は定めませんが、2010年4月から2025年9月までの低侵襲弁膜症手術を施行した全症例を解析対象とする。現在までの当科の手術件数を鑑み、400例を見込む。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部心臓血管外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書に順守し、研究終了後に電子化したデータセットを倫理委員会事務局に提出し、TARCにて10年間保管し、廃棄します。研究期間中の情報の保管に関して、研究に必要なデータファイルはすべて、解析に用いられる時間以外は、暗証番号がなければ開けないようにし部外者が閲覧できないようにします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：下川 智樹

職名 主任教授

研究分担者：植原 裕雄

職名 講師

所属： 帝京大学医学部心臓血管外科学講座

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL： 03-3964-1211 (代表)